

# こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2021年9月

第89号

## 主な予定

### トラップ調査

10月1日(金)

～2日(土)

## コバギボウシの開花株数調査

NPO こんぶくろ池自然の森 調査班

- ・ 湿性植物の代表としては、こんぶくろ池の希少種の中でもっとも個体数の多いコバギボウシを、コナラの優占する広葉樹二次林の希少種の中では、比較的多く見られるキンランを、調査対象に選びました。これらの種を代表に選んだのは、ある程度の個体数があり、生育の良いもの、悪いものなどがみられる種類でないと、環境条件と生育との関係を知ることができないからです。
- ・ これらの結果は、完全に林冠が閉鎖した暗い林内ではなく、林冠のところどころにすき間(ギャップ)があるやや明るい光環境が、コバギボウシやキンランの生育に適しており、それ以外の植物の多様性をも高めることを意味しています。
- ・ コバギボウシは、土壌含水率30～90パーセント、開空率20～40パーセントの広い範囲に生育していましたが、結実個体は開空率20～30パーセントに集中していました。(中略)つまりコバギボウシの生育には、土壌含水率よりも光環境が重要であり、林冠開空率20～30パーセントの光環境になるように、高木層の間伐などの手入れを行ってゆくのが良いと考えられます。

2011年発行「千葉学ブックレット 都市と自然環境-4 市民の力で湧水自然を守る・柏市こんぶくろ池物語」から抜粋

コバギボウシ(キジカクシ科)とキンラン(ラン科)の開花株数調査を2006年から継続しています。

**目的:** コバギボウシの開花株数を、湿性環境の適度な明るさ維持、ひいてはコバギボウシ以外の植物の多様性維持の指標として調査しています。

**実施日:** 2021年8月9日

**調査箇所:** こんぶくろ湿地(図1の北1～北5)、弁天湿地(図2) および中央8の林内(図1)

表 コバギボウシ開花株数 表内の数値は、コバギボウシの開花株数を示す。

	弁天湿地				小計	北地区(こんぶくろ湿地)					小計	中央地区		合計	
	北部		中部			南部		1	2	3		4	5		8
2021年	130		100		0	230	43	262	485	31	109	930	71	71	1,231
	東	西	東	西	東		西	東	西	東	西		東	西	
2020年	121		119		5	245	32	45	319	17	87	500	17	17	762
	東	西	東	西	東		西	東	西	東	西		東	西	
2019年	209		230		11	450	43	220	306	47	323	939	42	42	1,431
2018年	175		65		4		244	12	43	162	115		332	13	

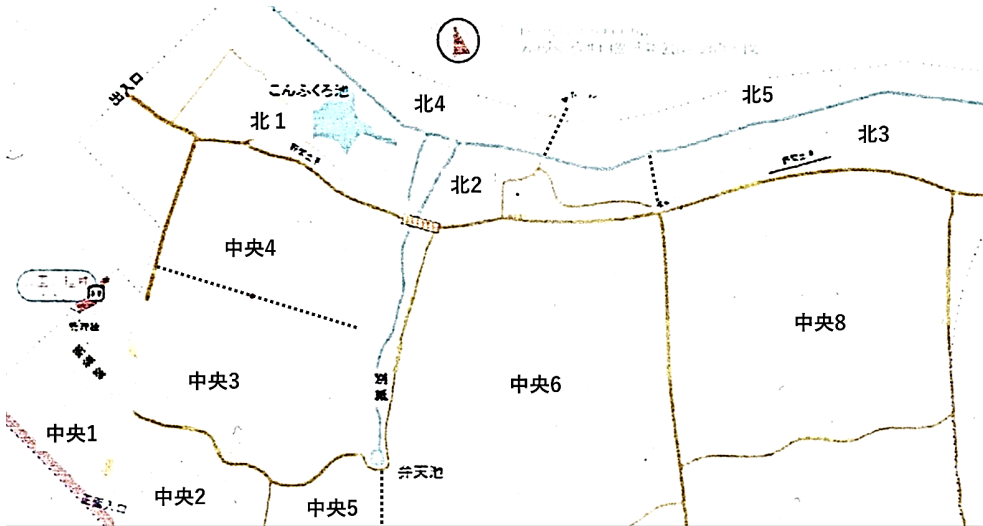


図1 こんぶくろ池自然博物館 コバギボウシ開花株数調査エリア

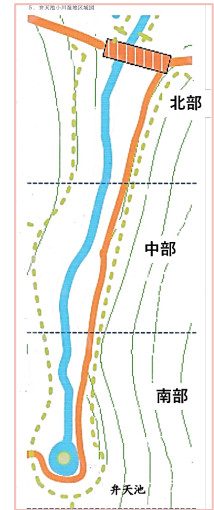


図2 弁天湿地拡大図

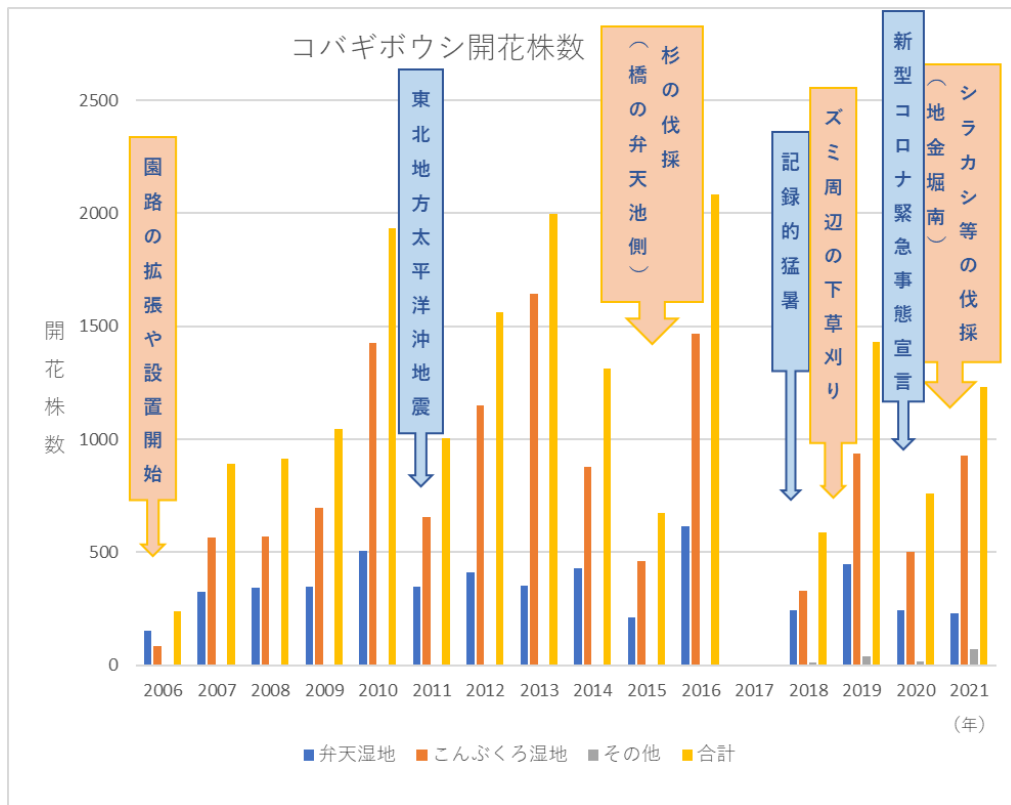


図3 コバギボウシ開花株数の経年変化



図4 葉が茂るが開花株数は少ない場所



図5 開花株数が多い場所

### 結果と考察

開花株数の合計は昨年度より増加し、地金堀南側北2（図3ではこんぶくろ湿地に含む）で顕著な増加がみられました（表図3）。今回の合計1231株は2016年の2081株には及びませんが（図3）開花はしなかったものの葉を茂らせた個体も多数確認しています（図4 図5）。

また、中央地区8でも、地金堀方向にあたる北側の園路沿いから林内にかけて増加が確認されています（表 図3）。

これらの結果から、2020年秋～2021年冬に、地金堀の南側（北2,北3）で行ったシラカシ、シロダモの適度な伐採の成果が出た可能性が示されました。（文責 上田真佐江）

## 令和3年夏季 こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

### 俳句の部

小綬鶏（こじゅけい）と鶯の声混じわりて  
梅雨晴れに病の癒えし友来る  
子かまきり早く飛びたて草刈るぞ  
夏森にロケットのようナラ枯れ木  
蝉しぐれ読経のごとく森に満つ  
送り火と共に消えゆけ悪（わる）コロナ  
夏の空入道雲に百日紅  
梅雨明けの森にトーチの光射す

悦 春  
悦 夏  
悦 秋  
昇多  
はやぶさ2  
はやぶさ2  
秀夫  
わらしべ

### 短歌の部

切れあじはカミソリににて女（め）ギツネの  
オレンジ色に光り輝く  
世の為とボランティアへと舵を切り  
自分の力無しに驚く  
この夏は打ったか打たぬかまだかいな  
挨拶代わりに交わす言の葉

イチケンサンバ  
イチケンサンバ  
昇多

公園の草地に生えるサルトリイバラ お盆の節に故郷思う	ノー・ボール
盆帰り今年もひかえ思い出す ばらっば餅の父母の味	ノー・ボール
ウグイスとセミの鳴き声調和して 心もなごむ朝のひとつき	はやぶさ2
コロナ禍も騒ぎ立てたる蝉の声 いつもと同じ夏の喧騒	秀夫
白南風（しらはえ）に追われるごとく森に入り 弁天池で涼む野兎	わらしべ

### あとかぎ

今年の夏はコロナ禍に加えて酷暑にもかかわらず、オリンピックを応援しつつ、延べ七名の方から俳句八句、短歌八首が寄せられました。

このことは、皆さんの熱心な活動の中に鳥や蝉の声や花の色の移ろいに傾注しつつ、年中行事お盆の際の感慨等にも幅広い感性を有していることをうかがわせます。継続は力なりと申しますので引き続き俳句・短歌を楽しみましょう。

自然の森をこよなく愛する皆さんの中に、俳句・短歌の輪がさらに広がることを期待します。

次回は秋季（9月～11月）になりますが、投稿箱への投稿や世話人あてのメールあるいはメモでも結構ですので、気軽に応募してください。お待ちしております。

## 新入会員紹介 中瀬 亮志さん



2021年のこんぶくろ池展に参加し、保全、調査の活動に興味を持ちました。自宅から近い自然を知り、守っていければと考えています。

**趣味・好きなこと：**博物館に行くこと

**取り組んでみたいこと：**子供も自然や森に興味があることから、その世代への森の活動の興味や参加を促す活動にもチャレンジしてみたいと思っています。

**ひとこと：**身近にありながらも、とても貴重な自然を守り育てていく、こんぶくろ池自然の森の活動に少しでもお役に立てるよう、少しずつになりますが、自分もレベルアップしながら活動させていただければと思います。

## キウイフルーツ／ハリエンジュ…園内で増えています

上田 真佐江

人間の活動によって、本来の生息場所から別の場所へ移されて定着した生物を**外来種**といいます。

2016年に環境省、農林水産省から「生態系被害防止外来種リスト」が発行されており、外来種が、総合対策外来種、産業管理外来種、定着予防外来種の3つのカテゴリに分類されています。

こんぶくろ池自然博物公園内に生育、生息する生態系被害防止外来種リスト掲載種は？

**総合対策外来種**では、トウネズミモチ アレチヌスビトハギ アメリカオニアザミ キショウブ ヒメジョオンなどの植物や、アメリカザリガニ ウシガエルなどなど。ハリエンジュ、モウソウチク、キウイフルーツは**産業管理外来種**です。

### 生態系被害防止外来種リスト 合計 429 種類

- ・ **総合対策外来種（総合的に対策が必要な外来種）** 310 種類

国内に定着が確認されているもの。生態系への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、遺棄・導入・逸出防止等の為の普及啓発など総合的に対策が必要。

- ・ **産業管理外来種（適切な管理が必要な産業上重要な外来種）**  
18 種類

産業又は公益性において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理が必要。

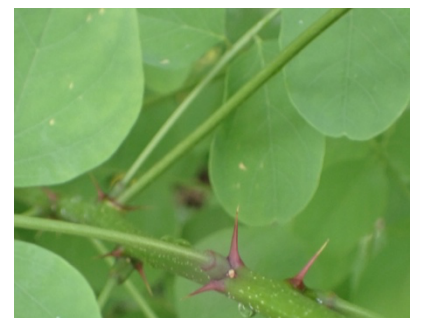
- ・ **定着予防外来種（定着を予防する外来種）** 101 種類

国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要。

「生態系被害防止外来種リスト」から部分的に抜粋



キウイフルーツ マタタビ科 若い蔓や葉柄には毛が密生しています



ハリエンジュ マメ科  
対の棘は、托葉由来  
小葉の先が凹みます

ハリエンジュ（マメ科）園内で数十本を確認しており、計画的に駆除が進んでいます。根からも芽を出してふえるので、何本もかたまって生えています。

モウソウチク（イネ科）週末と祝日に管理棟前に並ぶ人気の竹製足踏みは、モウソウチク製。モウソウチクは、マダケよりも頑丈で割れにくいそうです。

キウイフルーツ（マタタビ科）別名 オニマタタビ シナサル ナシ日が差す場所でふえています。森になるキウイフルーツを味わってみたい!?…けれど、生態系被害防止外来種リスト掲載種です!! 放置すると更にふえて、在来種を駆逐する恐れがあるものです。

#### ハリエンジュ（ニセアカシア）

- ・ 庭木や街路樹、養蜂の蜜源植物等に利用。生物多様性保全上重要な地域に侵入するおそれのある地域での使用は避けることが望ましい。

#### モウソウチク等の竹類

- ・ 二次林や自然林に侵入、在来種と競合、駆逐。
- ・ 食用（タケノコ）や材として利用。放棄せず、適正な利用、管理等が望ましい。

#### キウイフルーツ

- ・ 種子が鳥に運ばれて都市近郊の森林に侵入、在来種と競合、駆逐。
- ・ 果樹としての栽培。雑木林等へ侵入するおそれのある場所で栽培を中止する場合には、つるが伸びたり、種子が運ばれないよう、適切な処理が望まれる。

環境省 農林水産省発行「生態系被害防止外来種リスト 外来種を利用されている皆様へ」より「産業管理外来種 掲載の例」から抜粋

## 8月理事会

（日時）2021年8月28日（土）13:00～16:30

（出席者）岡本、上田、藤原、中川、萩原

（オブザーバー）川瀬

### 1. 審議検討・確認事項

（1）（10/17（日）開催）「きのご観察会」の準備状況について

- ・ 7月理事会以降の動き及び9月以降の課題等について、上田理事、川瀬さんより報告があった
- ・ チラシは川瀬さんが作成するが、コロナ禍でもあり印刷及び配布は行わない
- ・ Webからの申し込みフォームは川瀬さんが作成
- ・ 9/15（水）の柏市広報に掲載され申し込み開始。ただし電話

- 受付は9/18（土）のみで、管理当番（川瀬さん、橋本谷さん）が行う
- ・ 9/5（日）の調査活動日に刈込み場所の確認を行い、9/11（土）の里山活動日に刈込みを実施。9/19（日）の合同活動日も必要に応じて刈込みを行う
  - ・ センコー駐車場の使用依頼は上田理事が挨拶に伺う
- (2) (11月開催)「里山の保全活動体験会」の準備状況について
- ・ 中川理事より実施案の説明があった
  - ・ 緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置の発令下における実施については引き続き検討する
- (3) (UDCKとのコラボ企画)「秋の森の自然観察とワークショップ」について
- ・ UDCKとの打合せ結果について藤原理事より報告があった
  - ・ 11/14（日）雨天の場合は11/21（日）へ1回のみ延期
  - ・ 受付はUDCKのみで行い、UDCKスタッフがグリーンアクセスの紹介を兼ね1号近隣公園入口へ引率（約10分）
  - ・ 事前受付の人数が少ない場合、追加分の作業内容を見直しNPO側の当日受付を検討する
  - ・ 1号近隣公園から管理棟まではNPOスタッフが自然観察と落ち葉収集を行いながら管理棟へ引率（約1時間）
  - ・ 葉っぱスタンプのワークショップ（約30分）
  - ・ 理事会での変更決定事項をあらためてUDCK側と協議する（藤原理事）
- (4) 「新型コロナ感染拡大に対する直近のイベント実施可否の暫定処置」に関して
- ・ 緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置の発令下においてはイベントを中止する（当面の予定はきのこ観察会、UDCKとのワークショップ）
- (5) 水質浄化装置の譲渡（寄附）について
- ・ 岡本会長より、8/25付で柏市に寄附申出を行ったとの説明があった
- (6) 定款の一部改正について
- ・ 中川理事、岡本会長それぞれより定款改正の私案について説明があった
  - ・ これらの案を元に岡本会長がたたき台を作成し、改めて理事会で討議する

## 2. 報告事項

千葉大生2名の「地域活動体験」授業

当初予定は7/24～9/末であったが、新型コロナ緊急事態宣言発令を受け当面延期し、発令解除後に再開の予定。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。